



水稲の中期管理について

水稲は、中山間地域では上旬、平坦地では下旬に出穂期を向かえ順調に生育しています。これからが稲作栽培の本番です。この時期に多い問合せをQ & Aでまとめました。

Q・穂肥のタイミングは

A・元肥一発肥料を使用されている方は基本的には必要ありません。穂肥の施肥適期は、IB4号であれば幼穂が2mm（出穂20日前頃）の時に10a当り20kg、NK特14号であれば幼穂が2mm（出穂20日前頃）の時に10a当り10kg、その後10日後に10kgを施肥しましょう。

Q・去年紋枯れ病が多発したが今年はどうしたらよいのか

A・去年は出穂後の高温多雨のため坪枯れが出るほど発生しました。紋枯れ病の有効な治療剤はありません。予防剤としてリンバー粒剤（収穫30日前）、モンガリット粒剤（収穫45日前）を出穂20日前頃（菌が水平伝染するころ）に散布すると有効です。リンバー粒剤にはいもち病と同時防除剤としてコラトップリンバー粒剤があります。モンガリット粒剤は「稲こうじ病」にも効果があります。

Q・水管理はどうしたらいいの

A・平坦部では中干しも終わり、水田に水をためる時期になります。中山間部・平坦部に関わらず、特に出穂期から開花期は十分水をためて深水管理をお願いします。深水管理により高温障害の対策にもなります。

Q・斑点米の原因になるカメムシの防除方法は

A・斑点米の原因になるカメムシの被害は水稲の乳熟期に吸汁されることにより発生します。カメムシは乳熟期までは畔や周囲の草むらに生息していますので、草刈りをできるだけ早くし、カメムシの生息場所を除去してください。出穂期直前に草刈りをするのは、カメムシを水田に追い込んでしまうことになり、被害が増大します。防除薬剤としては「スタークル粒剤」があります。出穂後7日頃（乳熟期）に散布しましょう。いもち病との同時防除で「イモチエーススタークル粒剤」があり散布適期は出穂5日前頃です。

Q・キシウズズメノヒエ・アゼガヤの除草について

A・どちらも中干しが始まると、田の畔から一斉に侵入してくる蔓性の雑草です。特にアゼガヤはほうっておくと稲より草丈が高くなり、稲の収穫期に障害が出ます。畔に発生しているときは稲にはかからないようラウンドアップマックスロードやバスタ液剤で除草しましょう。稲の間に伸びてしまった場合は、その蔓が根づくまでにクリンチャーEW（収穫30日前まで）250倍を散布しましょう。

秋野菜用肥料 キャンペーン



合併20周年を記念して記載の6品目は特別価格で提供させていただきます。

店頭でお引き取りいただくとさらに
約3%値引き
(最大10%引き)
させていただきます。

期間限定 平成29年 **7月20日(木)** ▶ **9月25日(月)**

肥やけや発芽障害の少ない肥料です。

微量元素を含む速効性の化成肥料です。



有機特A801号
通常価格2,624円(税込)の品
キャンペーン価格
2,440円(税込)
野菜全般におすすめします。
20kg 国産品



新FTE入S604号
(硝安加里FTE604)
通常価格3,099円(税込)の品
キャンペーン価格
2,883円(税込)
速効性で追肥におすすめします。
20kg 国産品

播きムラが少なく経済的で使いやすい肥料です。

ゆっくり長く効くので、元肥に適しています。



園芸化成S550
通常価格2,624円(税込)の品
キャンペーン価格
2,440円(税込)
キャベツ、ブロッコリーなどホウ素欠乏防止にぴったり。
20kg 国産品



CDU S682
通常価格3,499円(税込)の品
キャンペーン価格
3,255円(税込)
ホウレン草など葉野菜におすすめします。
20kg 国産品

特に鉢花・野菜などの元肥として。

有機約66%含有(動物有機主体)粒状配合肥料で撒きやすい。



IB-S1号
通常価格3,348円(税込)の品
キャンペーン価格
3,113円(税込)
ゆっくり長く効くので元肥に最適です。
20kg 国産品



楽エコ
通常価格2,959円(税込)の品
キャンペーン価格
2,752円(税込)
◎有機にこだわりたい方におすすめします。
◎ホウレン草・コマツナ等の葉菜類におすすめします。
20kg 国産品

お問い合わせは、お近くのJAならけん営農経済センターへ

発行：本店 営農振興部営農推進課 経済部農業資材課

